

# FEATHER

## 体験版 操作ガイド



## FEATHERおよび表記について

- FEATHERは、より軽く、速くをテーマに G. I. WORKSにて開発されたMTVシリーズ用のリモコンサポートソフトウェアです。
- 対応機器:MTV1000、MTV2000、MTV2200SX、およびT-BOX、VideoGate1000とCRM-1の組み合わせ(マウスのみでも使用できます)。
- 体験版ソフトウェアをご利用いただいた上での不具合や要望点は report@canopus.co.jpまでお送りください。誠に恐れ入りますが、体験版ソフトウェアはサポートの対象外となりますので、個別のお客様へのご回答は控えさせていただきます。皆様から頂いた不具合情報や貴重なご要望は、今後の製品化への参考とさせていただきます。
- 説明の便宜上およびバージョンアップにより説明画面が実際のものとは異なる場合があります。



## ご注意

- (1) 各対応機器に付属の MEDIACRUISEの 全ての機能はサポートしていません(製品版も同様です)。
- (2) 説明画面の操作パネルのスキンは、製品版で使用されるもので、体験版には、テスト用スキンしか含まれていません。
- (3) FEATHERの液晶パネル風の表示部分は、リモコンユニット CRM-1にはありません。
- (4) 本体験版の機能は、製品版において、変更、改良、削除される可能性があります。
- (5) 本体験版を使用する場合は、MTV SeriesのVer1.16以降のドライバ/アプリケーションと併用してください。
- (6) VideoGate1000をお使いの場合には、Ver2.00以降のドライバを使用してください。
- (7) 本体験版は2002年12月31日で使用期限が切れますので、それ以降は使用できません。

FEATHER 体験版 操作ガイド

September 5,2002

Copyright© 2002 Canopus Co., Ltd.

All rights reserved.

# 目次

操作方法 .....	4
■ FEATHER の操作 .....	4
■ 録画再生コントロールボタンについて .....	5
■ 録画する .....	6
■ タイムシフト機能を使う .....	6
■ 追っかけ再生する .....	7
■ 再生する .....	8
詳細設定 .....	9
■ L1 ボタンについて .....	9
■ L2 ボタンについて .....	10
■ L3 ボタンについて .....	10
■ Media Library について .....	11
■ プロパティについて .....	12
■ FEATHER 設定ウィンドウについて .....	13
■ PC 画面出力のプロパティについて .....	14
■ [コンポジット] のプロパティについて .....	15
■ [S-VIDEO] のプロパティについて .....	15
■ [チューナー入力] のプロパティについて .....	16
■ [ファイル再生] のプロパティについて .....	16
■ Remote Control Manager について .....	17

# 操作方法

## ■ FEATHER の操作

### POWER ボタン:

FEATHER を終了します。

現在選択されているモードで操作が禁止されている機能ボタンは使用できません。

### 1-0/C ボタン

チャンネルのダイレクト入力、もしくはプリセット入力で指定します。ケーブルテレビのチャンネルは、頭に『C』をつけて入力します。C ボタンはメニューの取り消しを行います。

### L1 ボタン

MTV シリーズの設定を行うメニューを表示します。

### L2 ボタン

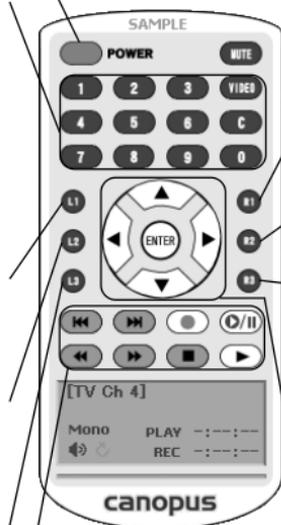
音声に関する設定を行うメニューを表示します。

### L3 ボタン

FEATHER の動作に関する設定を行うメニューを表示します。

### 録画再生コントロールボタン

録画や再生に関するコントロールを行います (p. 5 参照)。



### R1 ボタン

Media Library を表示/非表示します (p. 11 参照)。

### R2 ボタン

最小化します。

### R3 ボタン

フルスクリーン表示に切り替えます。

### 左右ボタン

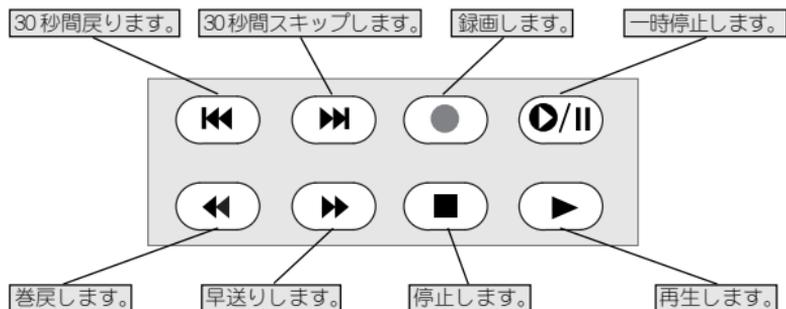
チャンネルをコントロールします。

### 上下ボタン

音量をコントロールします。

## ■録画再生コントロールボタンについて

録画再生ボタンは、録画や再生に関するコントロールを行います。通常のビデオデッキとほぼ同じように動作します。



### ⓘ 注意

FEATHERの『録画再生コントロールボタン』の機能は、CRM-1の『録画再生コントロールボタン』と同じです。



### ステータスバー

FEATHERの動作を示すアイコンなどが表示されます。

## ■ 録画する

- 1 録画するチャンネルを選択します。
- 2 録画フォーマットを設定します (p. 13 参照)。
- 3 [録画] ボタンを押します。  
→ 映像の録画を開始します。
- 4 録画を終了するときには、[停止] ボタンを押します。



## ■ タイムシフト機能を使う

- 1 タイムシフトモードを設定します (p. 13 参照)。
- 2 [タイムシフト] ボタンを押します。  
→ バッファリングを開始します。
- 3 [タイムシフト] ボタンを押します。  
→ バッファリングした映像を再生します。  
  
※ つまみを操作することでバッファリングした映像の再生位置を変更させることができます。  
  
※ [巻戻し] ボタンや [30 秒間巻戻し] ボタンで操作することもできます。



- 4** タイムシフト機能を終了するときには[停止]ボタンを押します。



**!** 注意

タイムシフト中に[録画]ボタンを押すと、現在の映像が録画されます。

## ■ 追っかけ再生する

- 1** [録画]ボタンを押します。  
→ 映像の録画を開始します。



- 2** [タイムシフト]ボタンを押します。  
→ 録画中の映像の最初に戻ります。



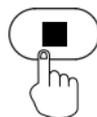
- 3** [タイムシフト]ボタンを押します。  
→ 録画中の映像が再生されます。



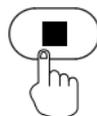
※ つまみを操作することでバッファリングした映像の再生値を変更させることができます。

※ [巻戻し]ボタンや[30秒間巻戻し]ボタンで操作することもできます。

- 4** 録画中の映像の再生を中止するときには[停止]ボタンを押します。



- 5** 再生を中止し、さらに録画も終了するときには、もう一度[停止]ボタンを押します。

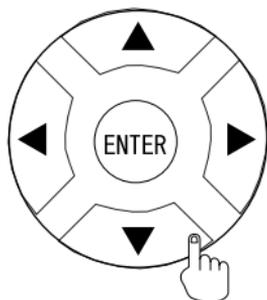
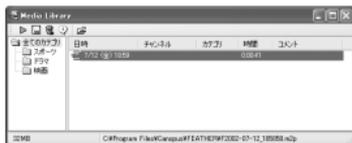


## ■ 再生する

- 1** [R1] ボタンを押します。  
→ [Media Library] ダイアログ  
が起動します (p. 11 参照)。



- 2** [上下] ボタンを押して再生  
したいファイルを選択し、  
[ENTER] を押します。  
→ ファイルの再生を開始します。



- 3** [R1] ボタンを押します。  
→ [Media Library] ダイアログ  
を閉じます。



- 4** 再生を終了するときは[停止]  
ボタンを押します。  
→ ファイルの再生を停止します。



# 詳細設定

## ■ L1 ボタンについて

[L1] ボタンを押すことにより MTV シリーズの設定を変更することができます。表示されたメニューは[C] ボタンで閉じることができます。

※ ここではチューナーモードを例に説明しています。

チャンネル	▶	チャンネルを切り替えます。
ボリューム	▶	ボリュームを設定します。
入力選択	▶	コンポジット、S-VIDEO、またはチューナーから選択します。
音声選択	▶	主音声、副音声、または主+副音声を設定します。あるいはステレオ/モノラルの設定を行います (p.10 参照)。
ファイル再生...		Media Library を表示します (p.11 参照)。
ビデオプロセッシング	▶	ビデオプロセッシングを設定します。
PC 画面設定	▶	PC画面の明るさ、コントラスト、または色の濃さを設定します。
VideoGate1000を使用		VideoGate1000を使用してビデオ出力する場合はチェックを付けます。
フルスクリーン	▶	フルスクリーン表示します。
画面サイズ	▶	表示する画面サイズを選択します。
チャンネル選択	▶	チャンネルをダイレクト方式、またはプリセット方式に切り替えます。
常に手前に表示		FEATHERを手前に表示します。
操作パネルを隠す		操作パネルの表示/非表示を選択します。
プロパティ	▶	プロパティを表示します (p.12 参照)。
終了		FEATHERを終了します。

## ■ L2 ボタンについて

[L2] ボタンを押すことにより音声に関する設定の変更をすることができます。表示されたメニューは[C] ボタンで閉じることができます。

※ コンポジットモード、S-VIDEOモードでは選択できません。

主音声	主音声で出力します。
副音声	副音声で出力します。
主 + 副音声	主音声 + 副音声で出力します。
✓ ステレオ	ステレオ方式で出力します。
モノラル	モノラル方式で出力します。

## ■ L3 ボタンについて

[L3] ボタンを押すことによりFEATHERの動作に関する設定の変更をすることができます。表示されたメニューは[C] ボタンで閉じることができます。

録画残り時間 ▶	録画残り時間を表示 / 設定します (録画中以外は選択できません)。
スキン ▶	操作パネルのスキンを選択します。
オプション設定...	FEATHER ウィンドウを表示します (p.13 参照)。
リピート再生	録画ファイルをリピート再生します。
操作パネルを隠す	操作パネルの表示 / 非表示を選択します。
バージョン情報...	FEATHER のバージョン情報を表示します。
終了	FEATHER を終了します。

## ■ Media Library について

Media Library の『全てのカテゴリ』には FEATHER を使用して録画されたファイルが保存されています。録画されたファイルを『スポーツ』、『ドラマ』等のカテゴリ別にドラッグして分類することができます。『全てのカテゴリ』上で右クリック→[新規カテゴリ]を選択すると、新たなカテゴリを作成することができます。また、録画ファイルのコメント欄をクリックすると、コメントを追加することもできます。



### ⚠ 注意

ファイルの前に ⚠ アイコンがついている場合は、キャプチャしたファイルとのリンクが外れています。また、キャプチャしたファイル名を変更すると、キャプチャしたファイルとのリンクが外れてしまい、Media Libraryでは再生することができません。その時は、一度右クリックでリンクの外れているファイルを削除し、新たに[メニュー]バーの[ファイルの追加]でリンクの外れたファイルを開いてください。

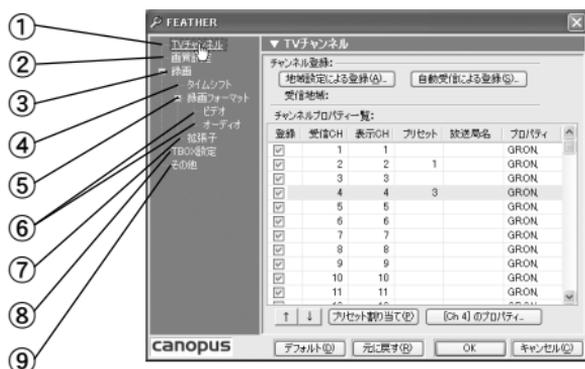
## ■プロパティについて

[L1] ボタン内にあるプロパティを選択すると、各種プロパティが表示されます。



## ■ FEATHER 設定ウィンドウについて

FEATHER ウィンドウには大きく分けて[TV チャンネル]、[画質設定]、[録画]、[その他]の4項目に分類されています。



### ① TVチャンネル:

地域別のプリセットを利用するか、もしくはオートスキャンを利用して放送があるチャンネルや放送局名などを設定するウィンドウです。

また1 から0 のボタンにプリセットチャンネルの割り当てを行うことができます (p. 14 『注意』参照)。

### ② 画質設定:

[PC 画面の出力プロパティ] (p. 14 参照)、[コンポジット入力のプロパティ] (p. 15 参照)、[S-VIDEO 入力のプロパティ] (p. 15 参照)、[チューナー入力のプロパティ] (p. 16 参照)、[ファイル再生のプロパティ] (p. 16 参照) で構成されています。

### ③ 録画:

『録画時間の制限』(最長23:59:59まで)、『録画中にはチャンネル切り替えを無効にする』、『タイムシフト中にはチャンネル切り替えを無効にする』、『録音レベル』、『録画ファイルの保存先』などの設定で構成されています。

### ④ タイムシフト:

タイムシフトモード時の設定を行います。

### ⑤ 録画フォーマット:

『ビデオ形式』、『ストリーム』、『画質』の選択などの設定によって構成されています。

### ⑥ ビデオ/オーディオ:

[録画フォーマット]内の[画質]設定を[マニュアル設定]に変更することにより、このウィンドウでビデオおよびオーディオに関する詳細な設定が可能になります。

### ⑦ 拡張子:

[MPEG1]の『システム』、『ビデオ』または『オーディオ』の拡張子、[MPEG2]の『プログラム』、『ビデオ』または『オーディオ』の出力時の拡張子を必要に応じて変更することができます。

### ⑧ TBOX 設定:

TBOXの[オーディオ]および[TV]に関する設定を行います。

### ⑨ その他:

[優先するチューナー]は『TBOXチューナー』もしくは『内蔵チューナー』を選択します。トラブルシューティングは必要に応じてチェックを付けてください。

### ❗ 注意

プリセットモードとは、あらかじめ任意の放送局に割り当てた1から0を選局することをいいます。

ダイレクトモードとは、放送局が使用しているチャンネルを選局することをいいます。

ケーブルテレビは、ケーブルテレビ局がチャンネルを割り当てています。

## ■ PC画面出力のプロパティについて

[全般]タブでは、視聴時のPC画面出力を設定します。オーバーレイ画面の『明るさ』、『コントラスト』、または『色の濃さ』を調整します。

[チャンネル表示]タブはオーバーレイ画面のオンスクリーン表示について設定します。

[表示位置]タブはオーバーレイ画面の表示領域を変更します。



## ■ [コンポジット]のプロパティについて

コンポジット入力時のカラーを調整します。ビデオプロセッシング機能をサポートしたMTVシリーズの場合は、3次元YC分離、ノイズ・リダクションの設定も行えます。



※ 画面はMTV1000のもので、お使いのMTVシリーズにより画面は異なります。

## ■ [S-VIDEO]のプロパティについて

S-VIDEOの入力時のカラーを調整します。ビデオプロセッシング機能をサポートしたMTVシリーズの場合は、ノイズ・リダクションの設定も行えます。



※ 画面はMTV1000のもので、お使いのMTVシリーズにより画面は異なります。

## ■ [チューナー入力]のプロパティについて

[全般]タブでは受信チャンネルの入力カラーを調整します。ビデオプロセッシングや現在選択されているチャンネルは、放送局名の入力も行えます。

[受信周波数]タブでは、現在選択されているチャンネルの受信周波数の微調整を行います。

※ MTV2200 SXシリーズでは[受信周波数]タブは表示されません。



## ■ ファイル再生のプロパティについて

[全般]タブではファイル再生時についてのオプション、ステレオ音声出力チャンネル、再生時のカラー調整などを行います。

[表示位置]タブはオーバーレイ画面の表示領域を変更します。



## ■ Remote Control Manager について

Remote Control Manager を設定することにより、FEATHER のキー配置をカスタマイズすることができます。ただし動作内容はお使いの環境により異なります。

- 1 タスクバーの『Canopus RC Manager [FEATHER]』を右クリックして、[Option] を選択してください。



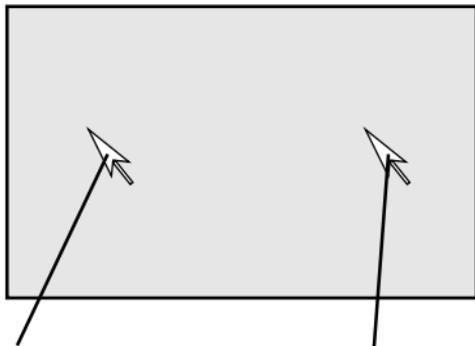
- 2 [Canopus RC Manager] ウィンドウが開きます。



**!** 注意

オーバーレイ画面の左側付近にマウスカーソルを置いた状態でホイールスクロールさせると、音量のコントロールが行えます。また、同様にオーバーレイ画面の右側付近にマウスカーソルを置いた状態でホイールスクロールさせると、チャンネルのコントロールが行えます。

オーバーレイ画面



音量のコントロール  
音量が強弱します。

チャンネルのコントロール  
チャンネルがUP/DOWNします。